



かけはし

岩国市立錦中学校だより 第16号

令和3年(2021年)11月26日(金)

<https://www.edu.city.iwakuni.yamaguchi.jp/site/nishiki-j/>



錦・美川について考える！

校長 田山 満則

11月20日(土)の登校日は、盛りだくさんの一日となりました。

午前中は、錦中学校区の教員や地域の方30名を学校にお招きし、校長室を全体会会場として、7会場に分かれ、リモートによる熟議を行いました。

テーマは、「学び、環境教育、地域連携、未来創造」の4つです。各会場10人以下の人数にして感染症対策を講じました。

これまで、各学校での熟議は行ってきましたが、錦中学校区の関係者が一堂に会し、子どもと大人が話し合うことは初めての試みでした。

中学生にとっては、難しいテーマもありましたが、教員ではない地域の大人が真剣に語る姿やその言葉から、郷土について深く考えるよい時間となりました。

最後に、各会場の熟議内容の共有をリモート(zoom)で行い、中学3年生が代表で発表しました。代表の生徒は、内容を的確にまとめた発表を行っていたので、1・2年生も先輩の姿に刺激を受けたことでしょう。「世代を越えた人の輪」の大切さを実感した瞬間でした。



【学び部会】



【環境教育部会①】



【未来創造部会②】



【未来創造部会①】



【環境教育部会①】



【環境教育部会②】



【地域連携部会①】



【地域連携部会②】

「相手を思いやるコミュニケーション」を学ぶ！

11月20日(土)の午後は、人権教育参観日、進路説明会を行い、その後、地域の皆様もお招きして、由宇亭拓の輔氏の講演会を開催しました。

地域の方と保護者が約70名、生徒約30名、教職員約10名、合計100名以上の観衆を前にして、オリジナルの新作落語「親の背中」を披露していただきました。笑いの中にも、中学生にとってはキャリア教育や人権教育につながる内容であり、生徒は、登場人物を自分のように捉えており、前のめりになって聴く多くの姿を見ることができました。

拓の輔氏は、本校が教員としての初任の中学校という縁もあって、当時の思い出にも触れられ、言葉は「諸刃の剣」であることやコミュニケーションの大切さを力強く話してくださいました。

生徒の感想の中には「初めて生の落語を聴いた。」「おもしろい、また聴きたい。」などの感想が多くあり、またひとつ学びを広げることができました。



学校公開週間を実施しました！

11月8日(月)から1週間を学校公開週間とし、多くの皆様にご来校いただきました。コロナ禍の中、現在は感染状況が収束しつつあり、少しずつ本来の「地域に開かれた錦中学校」の姿が戻ってきています。

以下に来校いただいた皆様からのご意見・ご感想(抜粋)を掲載させていただきます。

- 先生の指示や発言に生徒が反応していて、教室内に明るい雰囲気がありました。
- 掲示に写真がとても多く、生活の様子がよく分かって楽しかったです。
- 生徒が自ら発表しようとし、自分の考えを言える環境が大変すばらしいと思いました
- 生徒は、理解していない内容を教師に積極的に質問していた。
- 授業前の女子生徒の言葉遣いが少し気になりました。
- 生徒と先生の距離感がなく、フレンドリーでとても良かった。このような環境で学習できることは素晴らしい。
- 英語の授業では、発音の仕方がとても分かりやすく、生徒全員、納得していたし、私もよく分かった。どの学年も楽しい授業でした。

【学校閉庁日のお知らせ】

令和3年12月28日(火)から令和4年1月4日(火)まで、市内公立小中学校は閉庁しますので、よろしく申し上げます。